



## ① 関屋分水路河道掘削

### 事業の概要

平成23年7月の新潟・福島豪雨による洪水では、上流部保明新田付近～五十嵐川合流点付近で計画高水位（HWL）を超過し、支派川中ノロ川等でも危険な状態となりました。このため、最下流部の洪水処理能力を確保するため、関屋分水路の土砂掘削を行います。

### 整備効果

河道掘削を行うことにより、洪水の安全な流下が図られ、信濃川下流域の治水安全度を向上させます。



## ② 上八枚地区の河道掘削

### 事業の概要

平成23年7月の新潟・福島豪雨による洪水では、上流部保明新田付近～五十嵐川合流点付近では計画高水位（HWL）を超過した区間が発生するなど危険な状態となったため、河道の土砂を掘削し、洪水の安全な流下を図ります。

### 整備効果

河道掘削を行うことにより、洪水の安全な流下が図られ、信濃川下流域の治水安全度を向上させます。



## ③ 堤防の耐震対策

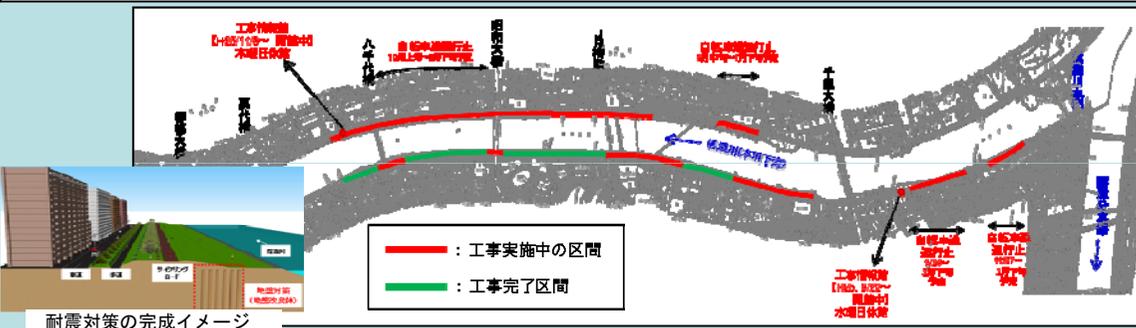
### 事業の概要

東北地方太平洋沖震災では、地震による震動、液状化等により、多くの堤防が被災しました。昭和39年の新潟地震においても、信濃川下流の河口付近で液状化の発生が確認され、堤防も亀裂等被災しました。

これらを踏まえ、大規模な地震発生時においても堤防の機能が適切に発揮されるよう、信濃川の河口付近において、堤防の耐震（液状化）対策を実施します。

### 整備効果

堤防の耐震（液状化）対策を実施することにより、洪水や高潮だけでなく津波に対しても地域の安全を確保することができます。



## ④ 金衛町工区人工リーフ等の整備推進

### 事業の概要

新潟海岸（延長約6.8km）は、海岸侵食の進行が著しく、風浪災害が発生した場合、新潟市街地への影響が甚大となる恐れがあることから、広域にわたる侵食制御と砂浜安定化を図るため、金衛町工区は平成19年度から直轄海岸保全施設整備事業として抜本的な保全対策を実施しています。

### 整備効果

海岸保全施設整備を実施し、波の打ち上げ高を低減させ、背後地の安全度を向上させます。



